

中央区文化振興プラン

～文化がつむぐ都心コミュニティ～

平成20年3月 中央区文化振興懇談会

はじめに

中央区は、江戸開府以来400年の歴史や伝統を誇るとともに、文明開化の主役であり、関東大震災後の昭和初期のモダニズムの輝きにも満ち、江戸から東京への歴史の重なりを多様な形で受け継いでいます。名所や旧跡、伝統芸能、画廊・美術館、ファッション、食文化、豊かな水辺や美しい建築物など、様々な文化資源に恵まれ、伝統の力と現代の創造性が結びついた魅力ある商業や文化の中心であり、過去から現在そして未来へと羽ばたいていくまちとなっています。

しかしながら、昨今、急激な人口の増加が進む中、新しく中央区に住まわれた方々の参加による新たな都心コミュニティづくりが大きな課題となってきています。そこで、中央区では、文化振興により、全ての方々がより豊かな生活を送るとともに、互いの交流や地域の活性化を図るため、昨年7月に学識経験者や芸術家など6名からなる中央区文化振興懇談会を設置し、区への提言として、「文化振興プラン」をまとめることといたしました。プランの策定にあたっては、区民や社会教育関係団体へのアンケート調査、区民ワークショップの結果なども踏まえ、中央区というまちにおいて取り組むべき課題などについて審議を進めてまいりました。

本プランは、まちづくり、地域経済、観光、福祉、教育など、様々な分野と連携した中央区における文化振興のグランドデザインを示すものです。めざしていく都心コミュニティの姿として、中央区全体を「サロン」、「ミュージアム」、「ステージ」にしていくことを大きな目標に据え、未来につながる夢のあるプランとしてまとめあげました。この文化振興プランをきっかけとして、区民、企業、行政等が連携し、豊かな文化を継承するとともに、新たな文化を創造し、ダイナミックに世界に発信する中央区になっていただきたいと願っております。

平成20年3月

中央区文化振興懇談会

座長 陣内 秀信

目 次

1	プランの背景 ～なぜ今、文化振興なのか～	1
	(1) 人口の急激な増加	
	(2) 文化が人のつながりをつむぎ出す	
2	文化振興の目的とめざしていく都心コミュニティの姿	4
	(1) 文化振興の目的 ～新たな都心コミュニティづくり～	
	(2) めざしていく都心コミュニティの姿	
	ア サロン ～誰もがともに語らい交流する～	
	イ ミュージアム ～宝物にあふれ、みんなが心豊かになれる～	
	ウ ステージ ～一人ひとりが演じかがやく～	
3	中央区の文化の特性	7
	(1) 江戸以来の歴史と伝統	7
	(2) お祭や盆踊りなどの活発な地域イベント	8
	(3) ファッションやショッピング、食文化の中心	8
	(4) 劇場、ホール、美術館・画廊等の集積	9
	(5) 商業、金融、情報及び交通の中心	9
	(6) 水辺に恵まれた環境や路地のコミュニティ空間	10
	(7) 歴史や伝統と先進性の調和	10
4	文化振興の方向性	13
	(1) 文化特性を活かした文化振興	
	(2) 区民主体の文化振興	
	(3) さまざまな視点による文化振興	

5 取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

重点プロジェクト

- 中央区まるごとミュージアム
- 文化振興プロデュースチーム
- 区民フォーラム
- 文化振興基金

(1) 継ぐ	～文化の継承～	17
(2) 創る	～新たな文化の創造～	20
(3) 活かす	～文化特性の活用～	22
(4) 育む	～人づくり～	24
(5) 支える	～文化を育む基盤の整備～	27

6 プランの実現に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

- (1) 各主体の役割等
 - ア 区民
 - イ 企業、NPO等
 - ウ 区
- (2) 取組を高め、広げるために

中央区文化振興プランの概要図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

- 中央区文化振興懇談会名簿
- 中央区文化振興懇談会審議経過

1 プランの背景 ～なぜ今、文化振興なのか～

(1) 人口の急激な増加

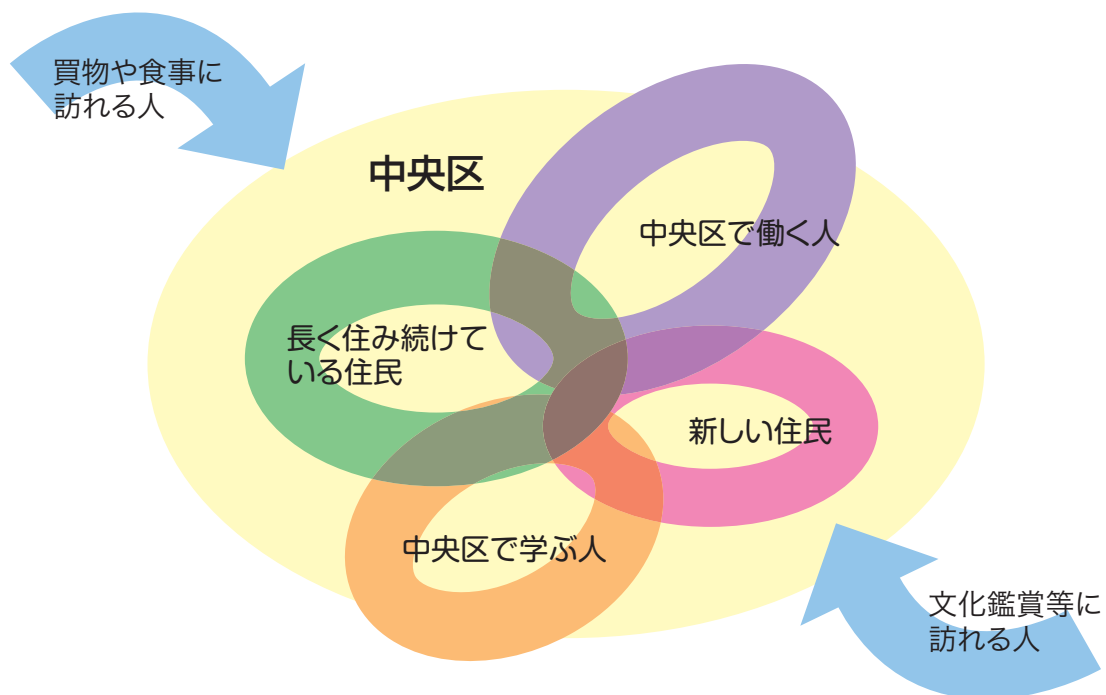
中央区は、江戸開府以来400年にわたり、わが国の文化・商業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。面積は小さいながらも、江戸五街道の起点である名橋「日本橋」、世界のショッピングストリート「銀座」、日本のウォール街「兜町」、食文化の中心「築地」、佃や月島をはじめとした豊かな水辺等さまざまな魅力に満ちあふれ、多くの人たちが集う活気とにぎわいのまちです。しかし、高度経済成長や、バブル経済とその崩壊の過程で生じた人口の減少や都心の空洞化に悩まされ、長年にわたり人口回復に向け、住宅施策をはじめとしたさまざまな取組が行われてきました。

こうした努力が実り、平成18年4月、基本構想に掲げていた「定住人口10万」の目標が達成されました。この10年間での人口の増加率は4割を超え、全国的にも例を見ない伸び率となっており、30代を中心とした若い世代も増えてきましたが、単身世帯も多く、世帯構成員の平均が2人を割る状況になっています。また、オートロックやワンルームのマンションも数多く建設され、大規模な再開発が進み街並みが大きく変わる中、新たな住民の町会や自治会への加入も減り、人と人のつながりは、地域によっては希薄なものになろうとしています。

こうした中、中央区では、地域の一層の活性化を図るため、新しく中央区に住まわれた人たちも積極的に参加する **新たな都心コミュニティ** をつくっていくことが大きな課題になっています。また、同時に、人が集うまち中央区としては、そこに働き、学び、訪れる人たち全てを含めた取組を行っていくことが必要です。住民が増え、街並みも大きく変わりつつある今、長年にわたって育まれてきた魅力的な中央区の文化をあらためて見つめ直すことも重要になっています。

<区民>

中央区は、文化・商業・情報の中心として多くの人たちが集うまちです。本プランでは、「区民」を中央区に住んでいる人たちを中心としながらも、**在勤者、在学者、来訪者等** を含めてとらえていきます。



(2) 文化が人のつながりをつむぎ出す

文化は、全ての人々にとって、真にゆとりやうるおいを実感できる心豊かな生活を実現していくために欠かすことができません。また、文化は、人を引きつける魅力や社会にさまざまな側面から影響を与える大きな力を持っており、経済活動等においても新たな需要や価値を生み出す源となるものです。

また、長年にわたり地域で育まれてきた文化は、史跡や文化財、祭りや伝統芸能などに残されているだけでなく、街並み、生活(しぐさ、作法等)、商習慣、言葉使いなど、人々を取り巻くあらゆるところに刻まれており、地域の魅力として、住民たちに地域への愛着心を抱かせ、それが地域の活力にもなっています。

こうした文化の持つ力は、中央区に長らく住み続けている人たちの心や生活の豊かさにつながっているだけでなく、新たに中央区に住み、集う人にとっても大きな魅力であり、中央区にさらなるにぎわいやうるおいをもたらす大きな力となるものです。

中央区の文化をあらためて認識するとともに、その魅力をさらに高め内外に発信していくことで、住民だけでなく中央区に集う全ての人たちの心を満たしていくとともに、それぞれの間につながりをつむぎ出していきます。

<文化>

本プランにおいて、「文化」は、芸術、伝統芸能、生活文化等をはじめとした文化芸術(※)だけではなく、歴史や伝統、生活様式、価値観、都市景観などを含むものとしてあつかいます。その上で、地域に親しまれ、地域に育まれる文化を、中央区における文化振興の対象としていきます。

※文化芸術の例(文化芸術振興基本法(平成13年法律第148号)の第8条～第13条を参考にしています。)

- ・ 芸 術 文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊等
- ・ メディア芸術 映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術
- ・ 伝統芸能 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎等
- ・ 芸 能 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等
- ・ 生活文化 茶道、華道、書道等
- ・ 国民娯楽 囲碁、将棋等
- ・ 文化財、出版物等

2 文化振興の目的とめざしていく都心コミュニティの姿

(1) 文化振興の目的 ～新たな都心コミュニティづくり～

中央区は、そこに長らく住んでいる人、新たに住み始めた人、そこに働き、学び、集う人など、さまざまな人たちから構成されています。また、そこにはそれぞれの多彩なライフスタイルが存在しています。長い歴史や伝統によって培われた中央区の気品や風格の上に、全ての人たちが、それぞれに心の豊かさを感じながら、地域に対する愛着心を共有し、互いを尊重し協力し合うことができる新たな都心コミュニティを作っていく必要があります。

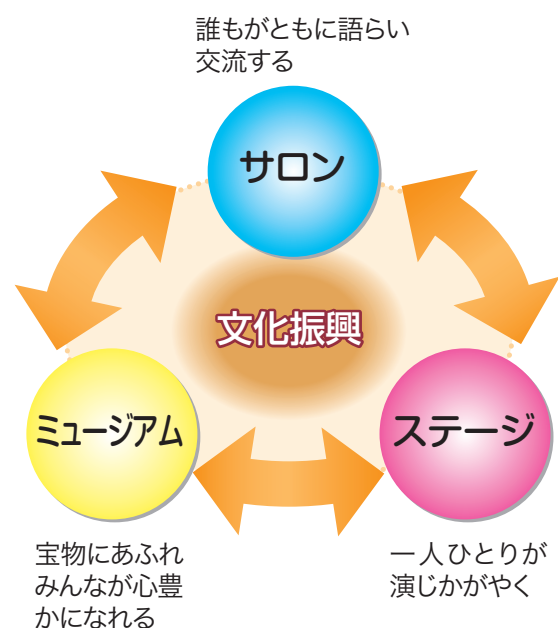
そのためには、中央区の文化を振興し、豊かな文化を一層魅力的なものにしていき、その力を活用してさまざまな色の糸を縦横につむいでいくことで、中央区というまち全体を、誰もがともに語らい交流する **サロン**、宝物にあふれみんなが心豊かになれる **ミュージアム**、一人ひとりが演じかがやく **ステージ** にしていくことが必要です。

(2) めざしていく都心コミュニティの姿

文化振興によりめざしていく新たな都心コミュニティでは、サロン、ミュージアム及びステージの各側面により、そこに住み、集う人たちが中央区に愛着を持ちながら、互いに交流し語らい、心の豊かさや充実感を持ち、さらにはそれぞれが主体的に活動し活躍していきます。

それぞれの側面は互いに関係し合いながら、中央区というまちの魅力を高めていき、中央区に住んでいる人たちは、そこに **ずっと住み続けたい**、中央区に集う人たちは、そこで **もっと活動したい** と思っています。

また、中央区の文化の魅力は内外に発信され、世界中の人々とも交流が進んでいきます。



ア サロン ～誰もがともに語らい交流する～

中央区には、そこに長年にわたり住んでいる住民がいる一方で、新たに住み始めた人たちも増え続けています。また、中央区に働き、学び、訪れる人たちなど多くの人々が集っています。そこには、町会や自治会などの地縁的なつながりをはじめ、PTA、会社、学校、サークル、ボランティア等さまざまな活動を通じた多彩なつながりが存在しています。それぞれに異なる年代や家族構成等も加え、さまざまなライフスタイルが重なり合っています。

互いのライフスタイルを認め合い、区民一人ひとりが心豊かな生活を実現していくためには、さまざまな人びとがともに語らい交流し、そのつながりを広げていけるよう、中央区というまち全体を、**サロン** にしていくことが必要です。

そのためには、地域のあちこちで文化が生まれ育ち、区民が日常的に文化をきっかけとして語り合っていける場をつくるとともに、区民の文化活動やその交流をより活発なものにしていくことが必要です。さまざまなライフスタイルが重なり合う中、互いの理解や尊重により、それぞれの強みが発揮され、さらに魅力的な文化が創造されていきます。

イ ミュージアム ～宝物にあふれみんなが心豊かになれる～

中央区は、江戸以来の長い歴史や伝統を誇るとともに、常に新しさを築き上げていく先進性があり、また、地域ごとに多彩な特色を持ち合わせ、歴史を物語り現代を表現する豊かな文化に満ちあふれています。名所・旧跡、伝統芸能、お祭り・盆踊り、食文化、老舗やブランドショップ、劇場、美術館・画廊、水辺空間、路地、街並み……。それぞれがまぶしく光る宝石であり、大切な宝物です。

これらの宝物の魅力に引かれて多くの人が集まり、そこで学び、楽しみ、心豊かになれるよう、中央区というまち全体を、**ミュージアム** にしていくことが必要です。

そのためには、それぞれの宝物の大切さをあらためて認識していくとともに、ほこりをかぶっている宝物に磨きをかけ、さらには新たな宝物を発見したり、新たにつくっていくことも必要になります。また、宝物の魅力をさらに高めていくためには、

それぞれの宝物を結び合わせていくことも重要です。例えば、まちのあちこちに所在する歴史を感じさせる建物や公共施設の一部をギャラリーやインフォメーションにするなど文化発信拠点として整備・充実していくことで、それぞれの宝物をつなぎ合わせ、区民が回遊してその魅力を味わえるコースをつくっていくことが可能になります。

ウ ステージ ～一人ひとりが演じかがやく～

子どもからお年寄りまで、区民の一人ひとりが心豊かな生活を実現していくためには、それぞれが中央区の豊かな文化特性の中で、文化の担い手として文化活動を行っていく必要があります。

歴史・伝統がある地域に対して、理解を深めたり、愛着心や誇りを体現できる地域の文化活動があります。また、豊かな文化環境の中で、質の高い芸術を鑑賞するだけでなく、自らが音楽活動や創作活動を行ったり、これらの活動を手伝い応援していく活動もあります。

誰もが主役を演じたり、それを支える脇役や裏方として充実感を味わいながらそれぞれの役割を演じることができるよう、中央区というまち全体を、**ステージ** にしていく必要があります。

そのためには、まちのあちこちにさまざまな文化活動を行う場所や機会を数多く提供し、多彩な活動が活発に行われ、ライブ感や躍動感に満ちたまちとしていくことが必要です。例えば、街路や水辺、歴史的建造物なども、工夫次第で魅力的な舞台としていくことが可能です。また、文化活動にかかわる情報を集約し発信していくことで、区民の一人ひとりが、それぞれのライフスタイルや個性、能力等に合わせさまざまな役割を演じられるようにしていくことも重要です。

文化鑑賞を含め、誰もが文化活動を行うことで、文化を通じた新たな人のつながりや新しい文化の創造が進み、中央区の魅力をさらに高めていくことが可能になります。

3 中央区の文化の特性

中央区は、そこに住み、働き、集ってきた人たちにより築きあげられた、さまざまな文化的な魅力に満ちあふれています。長い歴史や伝統の積重ねの上に、常に新たな文化を生み出し、過去から、現在、そして未来につながるまちとなっています。

中央区の文化振興にあたっては、まずは、そうした豊かな文化をベースとしていくことが必要です。文化特性を知り、見つめ直していくことで、文化を守り継承してだけでなく、その価値を高め、さらには新たな文化を創造していくことが可能になります。

(1) 江戸以来の歴史と伝統

中央区には、江戸開府以来400年にわたって培われてきた歴史と伝統が息づいています。日本橋や浜離宮恩賜庭園などの名所・旧跡、歌舞伎に代表される伝統芸能をはじめ、街並みや生活の中など、さまざまところに刻まれています。

また、古くは江戸時代にまで遡ることができる旧町名は、住居表示の実施により、その多くが町名としては失われてしまいましたが、地域発祥の由来等その歴史を今に伝える貴重な文化資源として区民にも親しまれ、建物や橋梁、駅、公園等の名称に使われています。



日本橋 慶長8年(1603)に徳川家康により架けられ、翌年には五街道の起点とされた。現在の橋は、明治44年(1911)に架けられた19代目の橋で、平成11年(1999)に国の重要文化財に指定された。



木挽町(旧町名) 現在の銀座地区の昭和通り南東に位置していた地域で、江戸城築城の際に多くの木挽職人が住んでいたことから命名された。芝居町としての長い歴史を持ち、今も歌舞伎座が所在している。「木挽町」は、現在でも、通りや病院、飲食店等の名称として使われている。

(2) お祭や盆踊りなどの活発な地域イベント

中央区内では、お祭りや盆踊りをはじめ、町会・自治会、商店会、地元企業等の主催や協力によるイベント等が活発に行われています。こうした地域イベントは、普段地域の活動を行っていない住民や地域で働く人たちにとっても、そのきっかけをつくったり、地域の魅力や愛着心を感じさせ、地域の活性化につながっています。



祭り 中央区内では、神田祭、山王祭、佃祭など多彩な祭りが開催されている(写真は、3年に1度行われる佃祭の大祭)。祭りは、今でもそれぞれの地域において地域活動の源泉になっている。(写真提供:区広報課)



盆踊り 来場者数が7万人を越える大江戸まつり盆踊り大会。毎年7月から8月にかけては、各地域でも盆踊りが行われ、多くの住民たちが参加している。(写真提供:区広報課)

(3) ファッションやショッピング、食文化の中心

銀座は、ファッションやショッピングの中心地として、専門店や百貨店が集積し、海外のブランドショップも数多く進出しており、今なお時代の先端をリードしています。また、食文化では、日本橋の魚河岸から移転した築地市場をはじめ、銀座や日本橋の老舗や多彩な飲食店、月島に連なるもんじゃ店など、さまざまな文化が培われています。



銀座 日本の繁華街の代表的な存在である。洗練された大人の街として活況を呈しており、世界的にもその名を知られている。



海外のブランドショップも多数進出している。



築地市場 都民の台所であり、規模・知名度とも日本を代表する。一般の購買客や見学者も入場でき、観光スポットにもなっている。

(4) 劇場、ホール、美術館・画廊等の集積

中央区には、歌舞伎座、明治座、新橋演舞場などに代表される劇場をはじめ、



歌舞伎座 明治22年(1889)に開設された歌舞伎の殿堂。現在の建物は昭和25年(1950)に竣工され、約2600人を収容できるが、老朽化への対応のため建替えが予定されている。

多くのホール、美術館・画廊等の文化施設が集積しています。古典芸能や演劇、コンサート、絵画、骨董等を楽しむことができる豊かな環境が形成されており、質の高い芸術や美術品に触れる場所や機会が数多く提供されています。



画廊 銀座や京橋を中心に日本で一番画廊が集積している。

(5) 商業、金融、情報及び交通の中心

日本橋は、江戸の商業発祥の地であり、また、銀座周辺も関東大震災後の復興事業以後、特に商業集積が進み、中央区は商業の中心となっています。

また、日本の中央銀行である日本銀行本店が所在するとともに、兜町周辺には東京証券取引所をはじめ多くの証券会社が集まり日本を代表する金融街になっています。同時に、マスコミ各社が本社を設置するなど、中央区は情報の中心



東京証券取引所 日本を代表する証券取引所で、世界的にもニューヨーク、ロンドン証券取引所とともに三大証券取引所として世界経済の中樞を担っている。

としての性格も有しています。



東京駅 平和の鐘からのぞむ東京の表玄関、東京駅。中央駅と位置づけられ「上り」「下り」の基点となっている。

さらに、1日あたり3千を超える発着列車を誇る東京の表玄関、東京駅に接し、江戸時代の五街道の起点であり日本の道路網の始点である日本橋や、内外の大型船が入港する晴海埠頭、東京・成田国際空港への好アクセスを実現する鉄道の発着やバスターミナルとともに、陸海空の交通の玄関口になっています。

(6) 水辺に恵まれた環境や路地のコミュニティ空間

中央区の大部分は、江戸以降の埋め立てによって順次造られ、面積の約2割を水面が占める水辺に恵まれた環境にあります。隅田川や運河によりうるおいのある景観が形成されるとともに、国の重要文化財である日本橋、勝鬨橋、清洲橋、永代橋などの橋が、景観に特徴を与えています。水辺には公園や緑地の整備が進んでおり、憩いの場になっています。



勝鬨橋 昭和15年(1940)に建設された日本でも珍しい跳ね橋。当初は1日5回跳開していたが、昭和45年(1970)を最後に跳開していない。



清洲橋 昭和3年(1928)にドイツケルン市の吊り橋をモデルに造られた橋であり、隅田川の架橋の中でも一番美しいと言われている。



永代橋 現在のアーチ橋は、大正15年(1926)に架設されたもので、アーチ形状の美しさが目立っている。

また、佃や月島地区は、豊富な水辺環境とともに、昔ながらの長屋や路地裏が残り、独特の生活感あふれる雰囲気やノスタルジーを感じさせ、そこには、昔ながらのコミュニティ空間が残っています。



路地裏 今も下町の面影をとどめる生活感の漂う路地裏は、貴重なコミュニティ空間となっている。

(7) 歴史や伝統と先進性の調和

中央区では、長年に渡る歴史や伝統が継承されるだけでなく、常にその時代の変化や新しさが取り入れられてきました。まちを眺めてみると、歴史的な街並みと新しく建てられた建築物が調和している



佃地区 時代を感じさせる街並みや釣り船と、後方の超高層マンション群とが美しいコントラストを見せている。



看板建築 正面に銅板を貼りつけて装飾している看板建築は、まちの歴史を感じさせ、新鮮なインパクトを持ちまちに風格を与えている。

都市景観が目に入ります。佃地区では、大川端リバーシティの高層マンション群と昔ながらの長屋や路地裏が独特な景観を形成しています。そのほかにも、立ち並ぶビルの間を覗くと、銅板

貼りの建築物など時代を感じさせる建物が数多く残り、懐かしい雰囲気をかもし出しています。

銀座通りでは、多くの老舗等が残っている中、海外からのブランドショップなどの出店が進んでいますが、銀座ルールにより建物の高さが決められ統一感のある景観が確保されています。

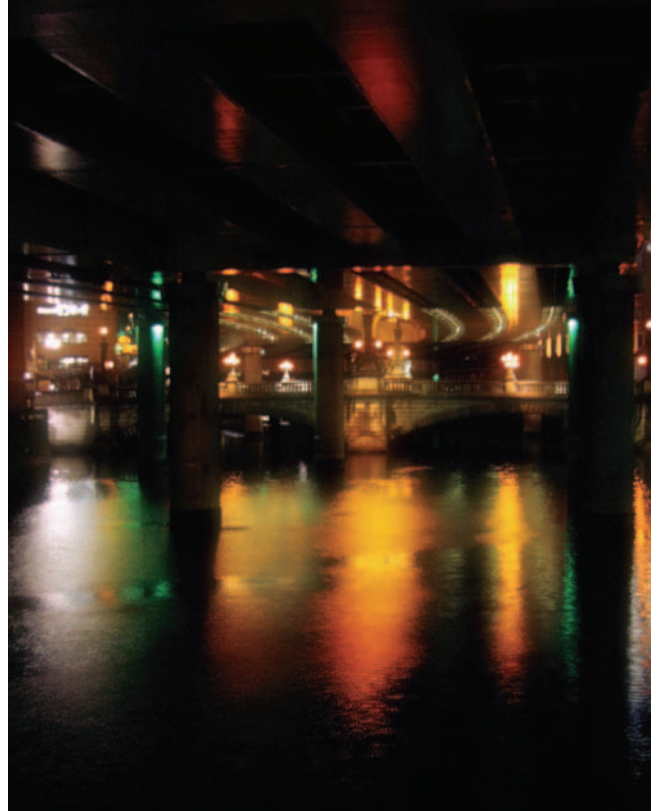


銀座ルール 銀座ならではの良好な景観を守るためにつくられた建築ルール。建物の高さは、区域により最大でも56m以下と取り決めがなされている。

また、景観だけでなく、祭りや商い、生活の中においても、昔ながらの作法、教え等が残されています。これらは、時代の流れの中で変化をとげながらも、大切なものとして受け継がれています。



きものde銀座 着物を着て銀座を楽しむ有志の集まり。毎月第2土曜午後3時に銀座4丁目和光前で待ち合わせを行い、銀座を闊歩している。



4 文化振興の方向性

ここでは、中央区における新たな都心コミュニティづくりを進めていくのにあたり、以下の方向性のもとで文化振興を進め、取組を行っていくことを提案します。

(1) 文化特性を活かした文化振興

中央区には、さまざまな側面を持つ豊かな文化があり、区民にとって大きな魅力となっています。中央区の文化振興にあたっては、こうした豊かな文化特性を活用していくことが不可欠であり、文化を継承するとともに、その魅力をさらに高めていくことが必要となります。

中央区の文化を継承する際は、忘れかけていた地域の文化資源を発掘したり、あらためて文化を見つめ直していくことも大切です。誰もが地域の文化を知り、地域に対する愛着や誇りを持つことにより、区民の交流が深まり、豊かなコミュニティをつくっていくことが可能になります。また、中央区の文化は、地域ごとにさまざまな魅力を持っており、それぞれの魅力に応じた活用を進めていくことも重要です。

次に、文化を継承するだけでなく、新たな文化を創造していくことも必要です。中央区の文化は、江戸以来の歴史や伝統の上に、明治維新、関東大震災や戦後の復興等において、常に新たな文化を取り入れ、築き上げてきました。中央区には、多数の文化施設が所在しており、質の高い芸術や美術品に直接触れられる機会も数多くあります。また、観光や商業のまちとして、外国人をはじめ、さまざまな人たちも集まってきます。こうした特性を活かして、すぐれた文化に触れ、異文化との出会いや交流を通じて、新たな芸術家を輩出したり、新しい文化を創造し世界に発信していくことも可能になります。

(2) 区民主体の文化振興

中央区の文化は、中央区に住む人たちの日々の生活やそこに働く事業者や来訪者など中央区にかかわってきた多くの人たちの、長年にわたるさまざまな活動や価値観等から生まれ、育まれてきたものです。したがって、文化の担い手として、

区民が主体となった文化振興を進めていくことが必要です。

そのためには、区（行政としての中央区と関係機関）は、文化の担い手でもありまたその活動を支える立場を持つ企業やNPO等とともに、区民の活動を支援していくことが重要な役割となります。支援にあたっては、区民の主体的な活動が進むよう、活動や発表の場・機会の提供、財政的な支援、活動のPR、各種関係機関に対する調整等の取組が必要となります。また、区民、町会・自治会、企業、NPO等との協力や連携が重要であり、区は、そのためのしくみづくりや調整を進めていくことが必要です。

(3) さまざまな視点による文化振興

文化には、非常に大きな力があり、広範な分野に対する影響力があります。文化振興にあたっては、まちづくり、地域経済、観光、教育、福祉等さまざまな分野において、文化の視点を取り入れていくことが必要となります。

<各分野における文化の視点の例>

ア まちづくり

江戸以来の歴史や伝統に基づく都市計画、古い由緒ある建物等を活用したまちづくり、水辺等美しい景観の維持・再現・創成

イ 地域経済、観光

文化イベントの開催等による中央区への集客、来訪者の回遊性を高めるための文化拠点の整備、外部への情報発信の強化、地元企業や商店会との連携

ウ 教育、生涯学習

学校における伝統や文化に関する教育、生涯学習における文化学習、文化ボランティアの養成・活用

エ 福祉

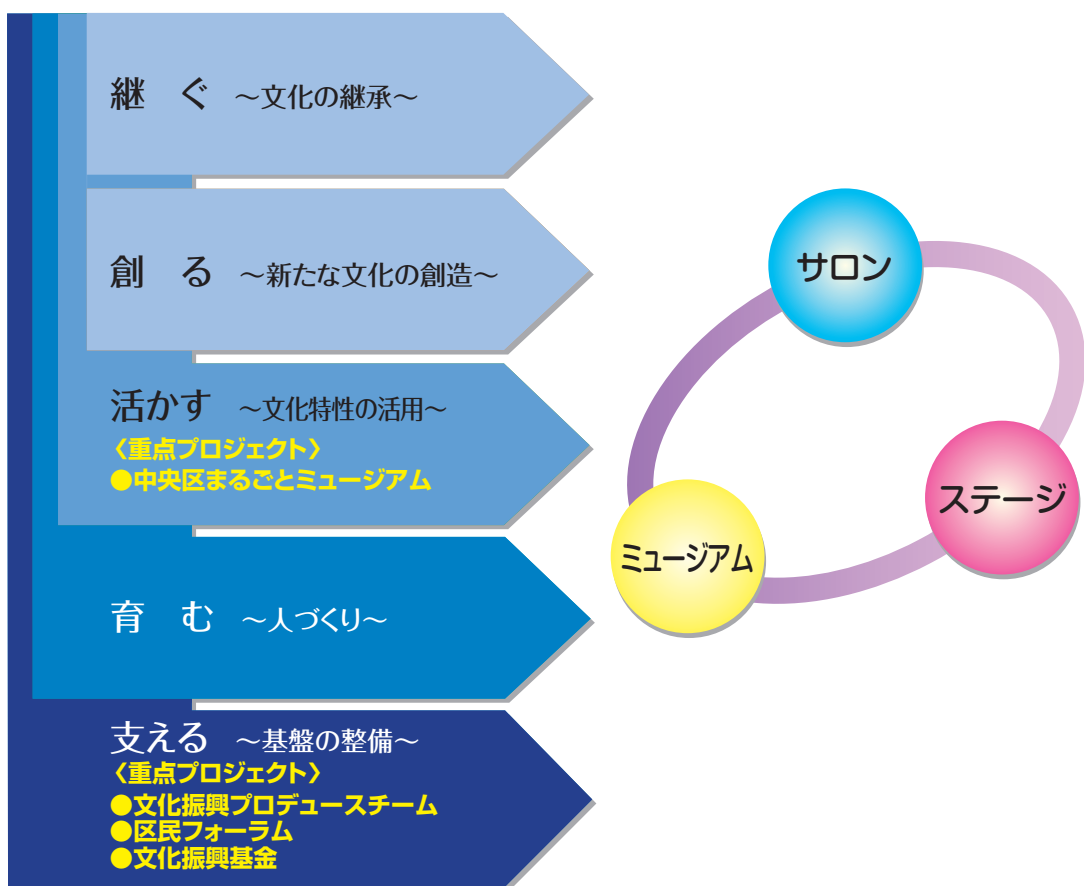
劇場等文化施設や生涯学習施設のバリアフリー化、高齢者や障害者等の文化活動への参加促進

5 取組内容

中央区の文化振興を進めていくのにあたり、区民、企業、NPO、行政等が行うべき具体的な取組について提案します。

取組は、「継ぐ」、「創る」、「活かす」、「育む」、「支える」の5つの体系に区分して説明しますが、相互の関係を考えながら進めていくことが必要になります。また、それぞれの取組を行うにあたっては、めざしていく都心コミュニティの姿である、**サロン、ミュージアム、ステージ**のどの側面に視点をあてていくかを考慮することも大切です。

なお、取組に際し、先にふれた文化振興の方向性に基づき、区民を主体とした文化振興を進め、区は、文化の担い手でもある企業やNPO等とともに、区民の活動を支えていく立場で取組を進めていくことが必要になります。また、区民の活動が進むよう、イベント的な取組においても、それがきっかけとなり活動が継続的に行われるように工夫していくことも大切です。



<重点プロジェクト>

区民を主体とした文化振興を効果的に進めていくためには、より多くの区民による中央区の文化的魅力の「発見・再認識」、区民の文化活動を具体的にプロデュースできる専門家の「能力・経験」、幅広い立場の区民が主体的に活躍し交流するための「組織・体制」、さらには具体的な取組を実現するための「資金」が必要となります。

そこで、全ての取組の中でも、特に区が重点的に推進すべき取組として、以下のとおり重点プロジェクトを提案します。

中央区まるごとミュージアム

中央区は、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺などさまざまな魅力に満ちあふれており、まち全体があたかもミュージアムであるかのようです。こうした中央区の文化的な魅力を誰もが認識し発見できるよう、さまざまな文化事業等の開催や招致を行うとともに、バスや船等を使って区内を回遊しながら中央区のさまざまな文化に親しめる取組を行っていきます。

文化振興プロデュースチーム

アートプロデューサー等文化の専門家からなるプロデュースチームを設置し、中央区で行うべき文化事業の具体的な企画・立案を行い、区民の活動を支援するとともに、文化ボランティアの育成等を進めていきます。

区民フォーラム

中央区の住民をはじめ、企業、NPO、大学等から中央区の文化に関心を持つ人たちが幅広く集まる組織を設置し、中央区における文化振興の現状や今後について検討するとともに、具体的な取組を企画、運営していきます。また、文化振興プロデュースチームが企画したり支援が必要と考える文化事業のサポートや、中央区の文化振興に関する評価を行う役割も考えられます。

文化振興基金

文化振興を財政面から担保するため、文化振興基金を設置します。市街地の開発は、地域のコミュニティや文化に対して大きな影響を与えるものであることから、基金の原資として、大規模開発事業を行う事業者に対し求めている開発協力金の一部等をあてていきます。

(1) 継ぐ ～文化の継承～

文化の継承を進めていくためには、次代を担う子どもたちや、中央区に新たに
住み始めた人たち等はもとより、長く住民であっても中央区の文化の魅力に気づ
いていない人たちに、中央区の文化や地域に関心をもってもらい、それを理解した
り再認識してもらうことが必要です。より多くの人たちに中央区の文化の魅力を
知ってもらい、さらにその魅力を高めていくことが大切です。

例えば、区民が手軽に文化や地域を知ることが
できる取組として、文化財や史跡、水辺等豊富
な文化資源などを巡るまち歩き等を進めていく
ことがあげられます。地域の発祥の由来ともなる旧
町名の掲示等により地域の歴史を知らせる取組
を行ったり、地域のことをよく知る人たちからの口
承等により、まちの歴史や、昔の生活・遊びなどに
ついて紹介していく機会を設けることも重要です。



文化財サポーター 区の歴史や文化を体感できるまち歩きは、区民の関心も高い。文化財サポーターは、区が開催した講座により育成されたボランティアで、まちの案内役として活躍している。(写真提供:中央区文化財サポーター協会)



古典芸能鑑賞会 中央区文化・国際交流振興協会の事業として、中央区古典芸能の会により行われている。区民へ古典芸能を鑑賞する機会を提供し、毎年多くの観客が楽しんでいる。(写真提供:中央区文化・国際交流振興協会)

交流のきっかけとなります。新たな住民や地域で
働く人たちが地域のイベントと一緒に参加しや
すくなるよう、祭りの作法や盆踊りの踊り方を教え
る講習会等を開催していくことも重要です。

また、多くの区民にお祭りや盆踊りなどの地域のイ
ベントに参加してもらったり、地域の伝統的な芸能や工芸
等に親しむ機会をつくっていくことも重要です。特に地
域のイベントは、新しく中央区にかかわることとなった人
たちにとって、地域活動に参加したり、長く中央区に住
んでいる人たちとの



銀茶会 銀座通りを野点の会場にして茶席を設け、一服のお茶を楽しめるイベントを開催している。(写真提供:中央区観光協会)

まちづくりにおいては、地域との協議の上に、歴史や伝統に基づく気品や風格ある都市景観を維持・再現していき、あわせて水辺や緑を活かした景観作りを進めていくことが必要です。再開発等には、歴史的価値の高い建築物の保存等地域の文化環境に配慮するとともに、郷土資料の展示や各種のインフォメーション等地域の理解につながる施設や文化の発信拠点を整備していくことも重要です。



日本橋上空の首都高速 昭和39年(1964)の東京オリンピックを控え、日本橋の直上に首都高速道路が建設されたが、地域を中心としてその景観を再生したいという動きが高まっている。



日本橋まちづくりアイデアコンペ最優秀賞作品 平成16年(2004)に国土交通省「日本橋みちと景観を考える懇談会」が主催し、日本橋周辺地域の再生に関するアイデアが競われた。(提供:東京国道事務所)



看板建築の画廊 時代を感じさせる銅版貼りの建築をうまく活かしながら画廊に改修し、地域の文化スポットになっている。



旧ビルの活用 昭和初期等に建てられた魅力的な旧ビル等を活用して、飲食店や古本屋などがオープンしている。

<取組の例>

取組	取組内容
文化財、郷土資料等の管理・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・有形・無形の文化財の保護 ・郷土資料の収集、管理、研究等 ・文化財、郷土資料等のデータベース構築による情報活用
まちの歴史（記憶）の保存・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・街並み、生活等を記録した絵画や写真の収集・展示 ・口承の記録とその活用 ・江戸から昭和の街並みをふり返る模型やCG等の作成 ・史跡や旧町名等の案内板の設置や地図等への表示 ・江戸しぐさ等昔の生活から学ぶ講座等の開催
まち歩き等地域を知るための活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財めぐり等の実施 ・公共交通機関等とタイアップしたまち歩きの推進 ・まち歩きや地域を紹介する冊子や地図等の作成 ・まちを知るための授業や講座の開催
祭り、盆踊り等地域イベント等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りや盆踊り等地域の歴史や伝統を受け継ぐ文化イベントや文化事業の開催 ・祭りや盆踊りの講習会等の開催
伝統芸能や伝統工芸・産業の保存及び振興	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能の鑑賞会の開催 ・老舗でのインターンシップの実施 ・伝統芸能及び伝統工芸・産業に関するイベントや授業・講座の開催
歴史や伝統に基づく都市景観の維持・再現等	<ul style="list-style-type: none"> ・日本橋上空の首都高速道路撤去の検討 ・歴史的価値のある建築物の保存や活用（ギャラリー、インフォメーション等への改修等） ・水辺や緑を活かした景観づくり

(2) 創^つる ～新たな文化の創造～

文化は、多くの人たちに、新鮮な感動を与え、心にうるおいやゆとりを満たしていく大きな力を持っています。文化の継承とともに、常に、新たな文化を取り入れたり、創っていくことが大切です。

中央区には、劇場やホール、美術館・画廊等が集積しており、質の高い芸術等に触れる場や機会が数多くあります。こうした特性を利用して、区民の文化への関心を一層高めていき、誰もが日常的に文化鑑賞を行い鑑賞者としての感性をみがいていくことで、文化活動や創作活動に対しても強い刺激を与え、新たな文化を生み出すきっかけとなっていきます。



ギンザ・インターナショナル・ジャズフェスティバル 日本伝統と世界の文化が融合する銀座ならではのワールドワイドなジャズの祭典(写真提供:ギンザ・インターナショナル・ジャズフェスティバル2007)



また、中央区から新たな芸術家を輩出できるよう、若い芸術家や美術大学の学生等が活動したり、発表する場や機会を作っていくことも重要です。その才能や可能性を見いだすことができるよう、芸術家や芸術評論家、学識経験者等の協力を仰いでいくことも考えられます。

銀座スペースデザイン・学生コンペティション 東京の美大生たちが、銀座のショーウィンドウ空間を提案。まちが若い才能を育て、学生が銀座から学ぶコンペティション(写真提供:銀座アートエクステンションスクール 撮影:田代衛司)

未来を担う子どもたちにとって、すぐれた芸術に身近で触れられる経験は、特に貴重なものとなります。学校の授業等において、一流の芸術家を迎え、そのパフォーマンスを目の当たりにできることは、いつまでも心の中に強く残り、子どもたちの人生や活動に大きな影響を与えていきます。



芸術家による学校での授業 美術、音楽等の芸術家が学校を訪問し、その活動を披露。写真は、文化庁の夢・アート・アカデミーでの、邦楽教室「常磐津演奏会」(写真提供:阪本小学校)

また、国際化が進む中、中央区を訪れる外国人も多く、最近では居住者も増加しています。国際交流の場や機会を拡充していくことは、区民にとって、異文化に出会えるだけでなく、自らの文化を見つめ直すことができ、新たな文化の創造につながる大きなチャンスとなるものです。



国際交流のつどい 中央区文化・国際交流振興協会による事業で、外国人に日本の伝統文化を紹介するとともに、相互交流の機会となっている。

<取組の例>

取組	取組内容
すぐれた芸術に触れられる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典芸能や演劇、コンサート等の鑑賞会や芸術作品の展覧会の開催 ・ 一流の芸術家等の学校や地域への招致
若い芸術家や美大生等の活動支援 (新たな芸術家の育成支援等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の場や機会の提供 ・ 区民参加によるコンペティション等の実施 ・ 学校や地域との芸術作品の協同制作等による交流
子どもたちへの芸術学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央区にかかわる芸術家の招致等による学校等における芸術学習 ・ 区や美術館等が所蔵する美術品、文化資料等の学校等への巡回展示 ・ 劇場における舞台裏等の見学会の開催
国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人との交流会の開催 ・ 外国人に対する日本語教室等(日本の作法等にかかわる教室を含む。)の開催 ・ 外国人向けのまち歩きの実施

(3) 活かす ～文化特性の活用～

中央区の魅力さをさらに高め、より多くの人たちにその文化を享受してもらうためには、中央区の豊かな文化特性や地域の特色を活かした、演劇会、コンサート、展覧会等を開催し、中央区の文化を内外に発信していくことが必要です。

既存の劇場やホールだけでなく、例えば、豊かな水辺、ノスタルジーを感じさせる路地裏、先進的な建築物のロビー等を使ってコンサートやギャラリーを展開することが考えられます。こうした場所にカフェ等をつくることで、さらに多くの人たちに、ゆとりやうるおいの空間を創出することも期待できます。



インフィオラータ 朝潮運河沿いの散歩道で、ぎっしりと敷き詰められた花びらによって描かれた花の絨毯に出来る。10万本を超えるバラの花びらが使用されている。

中央区の各地域では、魅力的な取組が数多く行われていますが、その魅力が多くの人たちに享受されないまま終わってしまう場合もあります。より多くの人たちに中央区の魅力的な文化に触れてもらえるよう、個々の取組を束ね、大きな1つの取組としていくことも重要です。

文化・芸術の秋には、中央区内でもさまざまな文化活動や文化事業が行われています。名所・旧跡、画廊・美術館等の既存の文化資源に加え、文化活動や文化事業を秋の一定の期間に集中的に行い、バスや船等を用意することにより各地域への回遊性を高め、あたかも中央区全体をミュージアム**中央区まるごとミュージアム**として、区民がさまざまな文化に親しめるような取組を行っていくことも必要です。

また、中央区内には多くの劇場がありますが、劇場間の連携により1つのテーマに基づき各劇場で演劇会を行ったり、音楽ホールや美術館・画廊等の連携によりコンサートや展覧会を開催することも考えられます。これらの取組は、各分野の活動を先導し、活性化していくことができ、



銀座あおぞらDEアート 銀座を拠点にしているギャラリーが集まり、銀座を中心に発表を続ける若手作家を紹介する展覧会を青空の下で開催している。(写真提供:銀座あおぞらDEアート実行委員会)

区民のかかわり方を考えることによって、鑑賞するだけでなく、自らが演じた創作したり、運営の手伝いを行うなど、区民の文化活動への参加促進へとつながっていきます。

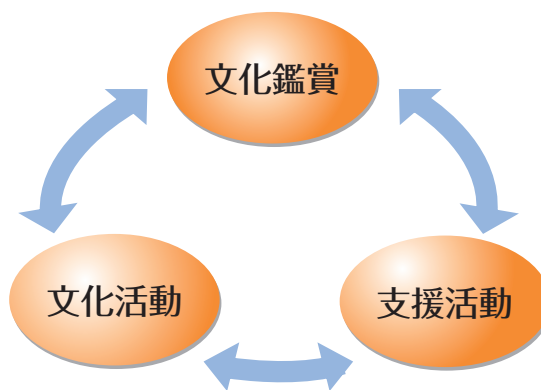
また、外部に対してもその魅力を大きく発信することができ、観光の振興や経済的な効果も期待されます。

<取組の例>

取組	取組内容
<p>まちかどアート スペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちかどの空きスペースの活用や名所・旧跡等を舞台にした演劇会、コンサート等の開催 ・店舗のショーウィンドウやビルの壁面等を活用した作品展の開催
<p>豊かな水辺との 共生を目的とした イベント等の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺のテラスや船上でのコンサート等の開催、カフェの開設 ・水辺での舟遊び、川巡り、カヌーレース等の実施 ・水上タクシー等水辺の交通手段の運行
<p>中央区まるごと ミュージアム <重点プロジェクト></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区民が区内を回遊しながら、中央区の多彩な文化を楽しめるように、バスや船等の用意、公共交通機関とのタイアップ等 ・ガイド付きでの名所・旧跡等を巡るまち歩きをはじめ、中央区の文化を体験できる数々のイベント等の開催や招致 ・区内で行われる文化事業等を紹介するマップ等の配布
<p>劇場、ホール、 画廊等の連携等 による文化事業 の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各劇場やホール、美術館・画廊等が、一定のテーマ等に基づき連携して行う演劇祭、音楽祭、展示会等の開催 ・複数の施設を活用した演劇祭、音楽祭、展示会等の開催 ・各店舗、事業者等の協力や連携による観光、商業、食文化等を振興するイベント等の開催

(4) 育^{は<<}む ～人づくり～

中央区の文化振興を進めていくためには、文化の担い手である区民が、子どもからお年寄りまで、誰もが文化を鑑賞したり、演劇、演奏、描画等の文化活動を行ったり、こうした活動を手伝い応援するなど、さまざまな形で文化活動にかかわることが必要です。また、区民による文化鑑賞、文化活動及び支援活動のそれぞれの質を高めていくことで、相互の活動の質をさらに向上させていくことが可能になります。



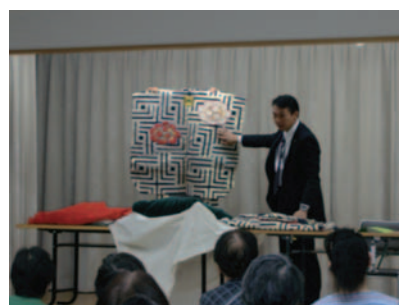
そのためには、文化の鑑賞や、学習・練習を含めた文化活動、それを支援していくための場・機会の充実等を図っていき、それぞれの活動を担っていく人材の育成、**人づくり**を進めていくことが不可欠です。

特に次代を担う子どもたちがすぐれた芸術や地域の文化に触れたり、活動を担っていくことは、子どもたちの将来だけでなく、中央区の未来にとっても非常に重要なものとなります。また、この数年間で退職を迎える団塊の世代についても、活動や活躍の場をつくっていくことが大切です。

<文化鑑賞における人づくり>

誰もが文化に接するためには、まずは、文化鑑賞を行うことができる場や機会を増やしていくことが必要です。そのためには、すぐれた芸術家が中央区内で活動を行いやすくなるよう、文化施設等において優先利用や施設使用料の減額等を考えていくことも重要です。

また、良質な演劇やコンサート、展覧会等や鑑賞を手助けするための講座・講演会を開催することも必要です。普段、劇場やホール、美術館・画廊等に足を運ばない人たちへのきっかけづくりとして、街角やビル



中央区民カレッジ 区で開催している生涯学習講座で、古典芸能をはじめとした文化鑑賞力の向上にも取り組んでいる。写真は、歌舞伎講座

の空きスペース等を活用して発表会やギャラリーを開催することも有効です。文化鑑賞を進めることで、自らが文化活動を行ったり、支援活動を行うきっかけにもなっています。

<文化活動における人づくり>

文化を鑑賞するだけでなく、誰もが主体的に文化活動を行うことができるよう、学習や練習、発表等の場や機会を充実することなどで、活動を行う人たちを育成していく必要があります。

区民に演奏や絵画等の文化活動を教える教室を充実するとともに、区民を構成員として文化活動を行う団体(サークル)の活動の推進を図るため広く区民にその活動を紹介し会員を募っていくことも必要です。文化活動を行う人たちの意欲や技能の向上を図っていくためには、活動の成果を発表できるようにすることが重要であり、多くの人たちが手軽に参加できる発表会を開催したり、鑑賞を希望する学校や高齢者施設等と結びつけていくことも必要となります。また、講師の紹介をはじめ各種の相談に対応する窓口等を充実したり、文化活動を行う人たちの交流の場や機会を提供していくことも重要です。



サークル発表会 日頃、区の社会教育会館等で活動を行っている各サークルがその成果を披露する場として開催。歌あり、踊りあり、演奏ありと、多彩で盛りだくさんの催しとなっている。

<支援活動における人づくり>

区民の文化鑑賞や文化活動を一層進めたり、文化事業を推進していくためには、これらの活動を支える文化ボランティアや文化NPO等の育成が必要となります。

展覧会や美術館、博物館等での展示物の案内をはじめ、まち歩きや地域イベントのサポート、文化活動を進めるための講座や発表会等の企画・運営、文化活動の取材や情報発信など、さまざまな分野での活躍が期待されます。特に退職を迎える団塊の世代については、長年にわたり蓄積してきた豊富な経験や能力の活用が期待されることから、その活



生涯学習サポーター養成 区民カレッジにおける養成講座の実習風景。講座で学んだことを活かして文化ボランティアとして活躍していく。

動や活躍の場をつくっていくことが重要になります。

こうしたボランティアやNPO等の自主的な取組を支援したり、活躍の場・機会をつくるとともに、これらを必要とする人たちとの間のマッチングを行っていくことも必要です。さらなる活動の飛躍につながるよう、内外のボランティアやNPO同士が交流できる場や機会をつくっていくことも大切です。

<取組の例>

取組	取組内容
文化・生涯学習施設の設置・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・生涯学習施設（図書館、博物館等を含む。）の設置・運営 ・劇場やホール等の文化鑑賞施設の設置・運営 ・文化事業に対する文化施設等における優先利用や使用料の減額等
文化学習講座や各種教室の開催等	<ul style="list-style-type: none"> ・文化学習講座や教室の開催
文化活動の発表の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動団体が手軽に参加できる合同の発表会等の開催 ・発表する場所の確保や鑑賞を希望する団体等とのマッチング
文化活動団体（サークル）の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動団体に対する活動の支援（練習や活動施設の優先予約、使用料の減額、講師派遣等） ・文化活動団体の交流やネットワーク化の推進
文化ボランティアや文化NPOの育成・活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ボランティアの養成講座の開催 ・文化ボランティアやNPOの活動や活躍の場の提供 ・文化ボランティアやNPOの交流会議の開催

(5) 支える ～文化を育む基盤の整備～

文化振興を進めていくためには、区民の自主的な文化活動が円滑に進むよう、その活動を効果的かつ継続的に支えていくために、区や企業、NPO等が支援を行う体制や活動拠点、財政基盤等の基盤を整備していくことが必要となります。基盤の整備に際しては、新たにつくるだけでなく、既存の基盤を有効に活用していくことも重要です。

<体制>

区においては、文化の振興が、都市計画等のまちづくりをはじめ、地域経済、観光、教育、福祉等さまざまな部門にかかわることから、庁内に区の関係部署による連絡調整を行う体制を整備していくことが必要です。また、区民や民間の視点、立場等から取組をより円滑に進めることができるよう、中央区文化・国際交流振興協会や中央区観光協会等関係機関の強化を図り、適切な役割分担の上でその活用を一層推進していくことが必要となります。

区民主体の文化振興を進めていくためには、まずは、民間の活力を最大限に活用することにより、文化振興を牽引していくことが必要です。そこで、中央区の地域事情に詳しく、専門的知識を持ち、具体的な取組をプロデュースすることができるアートプロデューサー等からなる**文化振興プロデュースチーム**を設置し、具体的な文化事業の企画・立案を行い、区民の活動を支援するとともに、文化ボランティアの育成等を図っていくことが必要です。取組に際しては、その内容や分野に応じて、メンバーを追加するなど柔軟な対応を行っていくことも考えられます。

また、文化の担い手である区民が主体的に参加する組織を整備していくことも必要です。住民、町会・自治会をはじめ、企業、NPO、大学等からメンバーを募集するなど、幅広い区民から構成される組織**区民フォーラム**をつくり、区民自らが中央区の文化振興の現状や今後について検討したり、具体的な取組を企画・運営していくことが重要です。また、同フォーラムが先の文化振



区民ワークショップ 本プランの策定に際し区民の意見等を聴くために開催。町会、PTA、事業者及び文化ボランティアのそれぞれの立場から、中央区の魅力等について熱く話し合いが行われた。

興プロデュースチームが企画したり支援が必要と考える文化事業をサポートすることも考えられます。さらに、文化の振興にあたっては、さまざまな取組が想定され、また文化に対する区民の価値感の多様性も考えられることから、中央区の文化振興に対する評価システムを構築することが重要になります。その際は、区民フォーラムを活用していくことも1つの方法として考えられます。

<取組の例>

取組	取組内容
区における庁内連絡調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興に際し、まちづくり、地域経済、観光、教育、福祉等さまざまな分野と連携して取組を進めるため、文化振興に関わる施策を行う関係部署による庁内会議を設置 情報共有と関連する施策間の調整
文化・国際交流振興協会等区関係機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の組織体制の強化 区との適切な役割分担による機能の強化
文化振興プロデュースチームの設置 <重点プロジェクト>	<ul style="list-style-type: none"> アートプロデューサー等文化の専門家からなるプロデュースチームを設置 具体的な文化事業等の企画・立案を行い、区民の活動を支援、文化ボランティアの育成等を推進
区民フォーラムの設置 <重点プロジェクト>	<ul style="list-style-type: none"> 文化の担い手である区民から構成する委員会を設置 文化振興の現状や今後について検討し、具体的な文化事業の企画・運営等を実施

<活動拠点や情報基盤>

区民の自主的な文化活動が活発に行なわれるよう、文化活動団体が練習や発表を行ったり、ボランティアやNPOが活動を行うための場を用意していくことが必要です。活動の実態に応じて新たな施設を整備することも必要ですが、公共施設の一部や企業ビルのホール等の空間を発表等の場として利用できるようにしたり、区や企業等が保有する空き事務所を活動拠点として貸し出していくことも重要で

す。貸出を目的とする文化施設においても、特に中央区の文化振興につながるような文化活動に対しては、優先的に施設を提供したり、利用料を減額又は免除するしくみを考えていくことも必要です。

さまざまな文化活動が行われていても、それが適切にPRされない場合、せっかくの活動も区民に享受されないで終わってしまいます。公共施設や人の行き交う施設等を活用して、PR用の掲示スペースの設置等をはじめとしてさまざまな形でインフォメーションを行っていくことが必要です。

また、中央区の文化施設や文化事業に関する情報をはじめ、祭り・盆踊り等各地域の文化活動やまちの歴史・沿革など地域を知るための情報等を広く区民に提供するとともに、中央区の文化や取組に対する区民の意見や要望等を収集していくため、インターネット等を活用した情報基盤を整備していくことも必要です。提供する情報は、できるだけ網羅的にするとともに常に最新の情報提供等を行っていくことが必要であり、記事の取材や情報の更新、意見の分析等にあたり、文化ボランティア等を活用していくことも重要です。

<取組の例>

取組	取組内容
文化活動団体や文化ボランティア・NPOの活動拠点の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動団体や文化ボランティア・NPOの活動の場の提供 ・既存の建物等の活用
情報基盤の整備及び文化情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区内のさまざまな文化情報を集積する情報基盤を整備し、インターネット、チラシ、情報誌等を通じて区民に提供 ・取材活動や情報更新等について、文化ボランティア等を活用 ・駅などの人の行き交う公共施設等における文化情報の掲示スペースの設置等

<財政基盤>

区民の文化活動を進めていくためには、それを支える財政的な基盤が必要となります。

中央区では、その地域特性から、各地で大規模な市街地開発が進められていますが、こうした開発は地域のコミュニティや文化に対しても、大きな影響を与えるものとなります。こうしたことから、区が大規模開発事業を行う事業者に対して求めている開発協力金の一部を文化振興に活用することとし、それを積み立てる基金**文化振興基金**を設置していくことが必要です。基金では、開発協力金のほかに、区民や企業からの寄付金等を募っていくことも考えられます。

また、区民等の取組を支援するため、区が従来から行っている事業費の助成制度等の充実を図るほか、企業によるメセナ活動を通じた資金的なバックアップ等を進めていくことも必要です。

<取組の例>

取組	取組内容
文化振興基金の設置 <重点プロジェクト>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興基金を設置し、大規模開発事業を行う事業者に対して求めている開発協力金の一部等を積み立て、文化振興事業に活用 ・開発に際し、事業者が自ら開発地域に対する文化事業を行う場合は、開発協力金の納付を免除するしくみ等も実施
文化事業に対する事業費の助成等	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業の実施に対する事業費の助成等
企業メセナ活動の推進・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のメセナ活動の推進 ・企業のメセナ活動を推進するための啓発、支援等

6 プランの実現に向けて

本プランを実現していくためには、区民、企業・NPO等及び区のそれぞれの主体がその役割を認識し、積極的にその役割を果たしていくことが必要です。また、互いの協力や連携を深めていくことで、取組をさらに高め、広げていくことが重要です。

(1) 各主体の役割等

ア 区民

区民は、文化の担い手として、主体的に文化活動に取り組み、中央区の文化の魅力をもっと高めていくとともに、次の世代に伝えていくことが求められます。文化活動を通じて、区民の一人ひとりが、うるおいやゆとりを感じ、心豊かな生活が実現されていくだけでなく、互いを尊重しながら交流を深め、地域の活性化や新たな文化の創造につなげていくことが期待されます。

イ 企業、NPO等

企業やNPO等は、地域の一員として自らが文化活動を行うとともに、区民の文化活動を支えていくことが求められます。

区民の活動を支えるためには、さまざまな能力や経験を持つ人材の提供をはじめ、企業は資金的なバックアップや活動場所の提供等を行ったり、NPOは区民の文化活動を啓発し、活動のプロデュースや文化講座の開催を行うことなどが期待されます。

ウ 区

中央区文化・国際交流振興協会や中央区観光協会等の関係機関を含め、区は、区民主体の文化振興を進めていくために、区民や企業、NPO等の主体的な文化活動を支えていくことが求められます。そのためには、区民等が文化活動に参加し取り組むための普及啓発やきっかけづくりを行い、文化活動を先導す

るための取組を企画し、区民等との協力や連携を行いながらその運営を行なうことも必要です。また、事業費の助成や活動場所の提供等を進めていくとともに、地域における連携づくりや、各種の連絡・調整役を担っていくことも重要な役割です。

なお、本プランの実現にあたっては、重点プロジェクトとして提案している各取組を具体的に進めていくことが特に重要となります。

(2) 取組を高め、広げるために

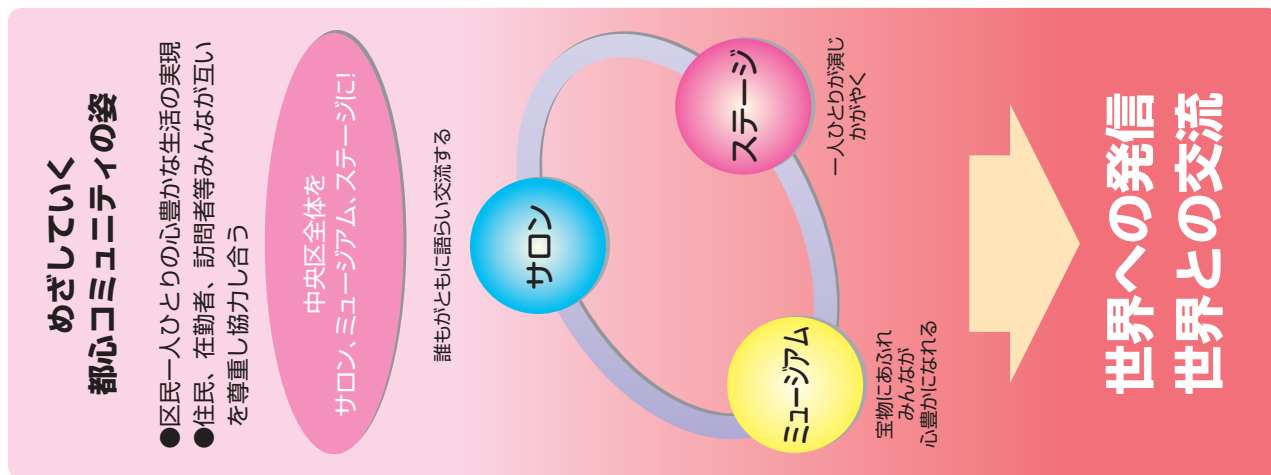
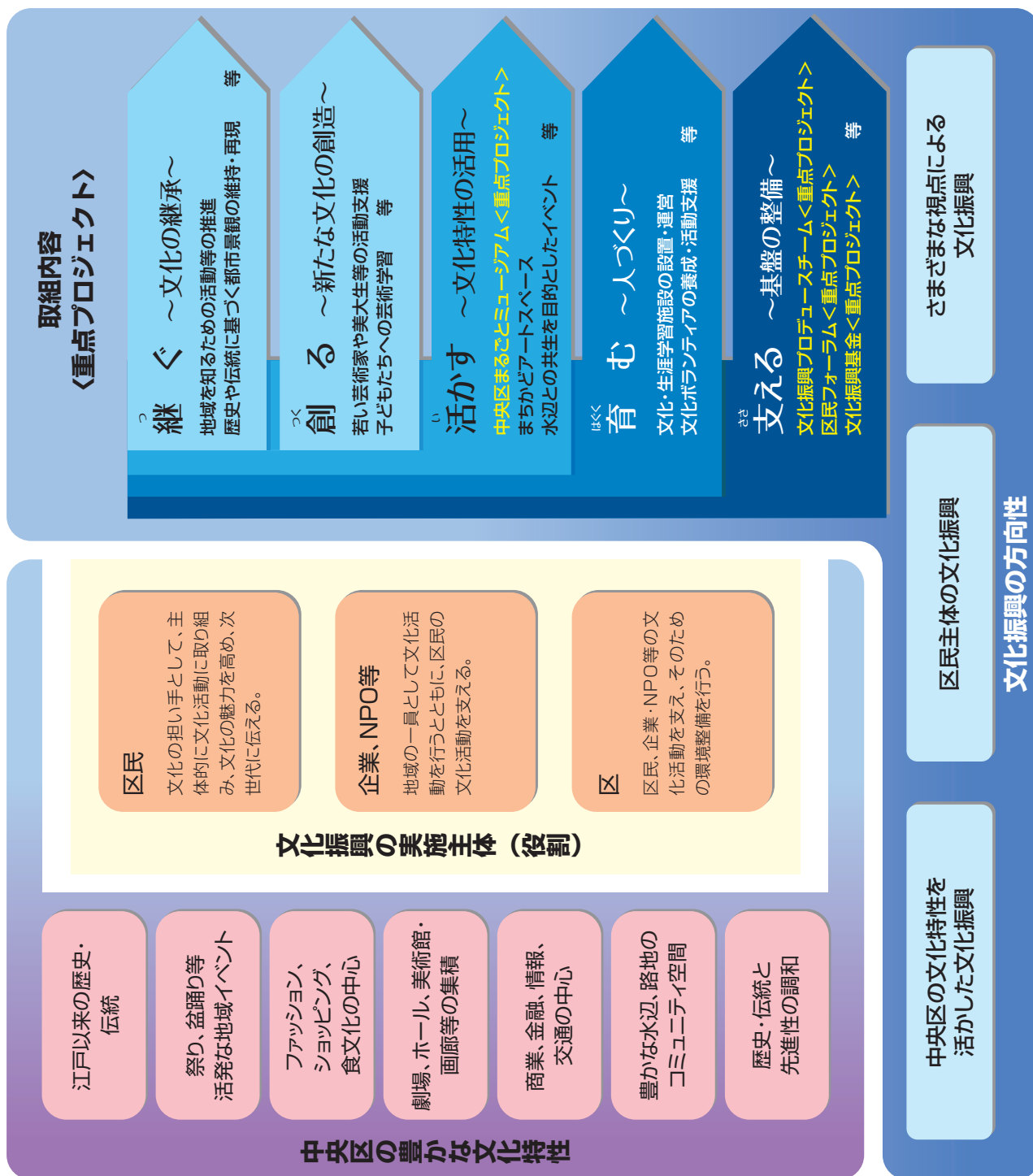
文化を振興していくためには、区民、企業・NPO等及び区のそれぞれがその役割を認識し、その取組を積極的に進めていくとともに、それぞれの取組をさらに高め、広げていくことも必要となります。例えば、区民については、文化活動の担い手として自らが音楽の演奏、演劇、描画等さまざまな文化活動を行うだけでなく、区民自身がプロデューサーとなって、文化イベント等を企画し、運営していくことも重要です。

さらに取組を高め、広げていくためには、各主体がそれぞれで活動を行うだけでなく、互いが協力し、連携していくことが必要になります。本プランの中で重点プロジェクトの1つとして提案している区民フォーラムですが、そこでは、区民が幅広く集まり、区民自らが主体的に中央区の文化振興について話し合い、取組が進められていきます。企業やNPOなどさまざまな分野からメンバーが集まることで、運営を支えていく立場にある区とともに、企業やNPO等が協力したり、連携しながら取組を行っていくことが可能になります。また、この取組は、中央区の文化振興を推進してだけでなく、さまざまなライフスタイルや立場を持つ人たちが集まり交流することができ、地域の活性化やコミュニティづくりにも直接的につながっていきます。

文化振興に向けた取組を高め、広げていくことを継続的、かつ、効果的に進めていくことで、中央区というまち全体が、誰もがともに語り交流するサロン、宝物にあふれみんなが心豊かになれるミュージアム、一人ひとりが演じかがやくステージとしていくことが可能になります。

これにより、中央区に新たな都心コミュニティが実現し、さらには、その文化が全世界に発信されることで、中央区が世界中のさまざまな人びとからの注目を集め、世界と幅広い交流が図られていきます。

中央区文化振興プランの概要図



参考資料

中央区文化振興懇談会名簿

(委員)

氏名	略歴等
座長 陣内 秀信	法政大学デザイン工学部建築学科教授、 中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）館長
副座長 三田 芳裕	(株) 明治座代表取締役社長、(株) 濱田家代表取締役、 人形町三丁目東町会会長
大久保邦子	文化ボランティアコーディネーター、 文部科学省生涯学習クリエイティブアドバイザー、文化庁 委嘱事業文化ボランティア全国フォーラム実行委員長等歴任
常磐津英寿	常磐津三味線奏者、名誉区民、人間国宝、 中央区古典芸能の会副会長
三田 佳子	女優、 NHK大河ドラマ、日本橋物語（三部作）等多数出演
小川 幸治	日本画家、女子美術大学等講師、日本美術家連盟会員、 下町写生展等を全国で開催

(オブザーバー)

氏名	略歴等
高橋 邦夫	副区長（区民部担任）
小泉 典久	企画部長
小池 正男	教育委員会事務局次長
河野 聰	中央区文化・国際交流振興協会事務局長

※敬称略

中央区文化振興懇談会審議経過

開催回	日時・場所	主な審議内容等
第1回懇談会	平成19年7月6日(金) 中央区役所庁議室	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興プラン策定の目的、検討の進め方等について 中央区の特性について 各種調査の実施について
第2回懇談会	平成19年9月5日(水) 中央区役所庁議室	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興プラン検討の進め方等の確認 区が実施した調査(※1)及びワークショップ(※2)の結果報告 中央区の文化振興の方向性、施策等についての意見交換
第3回懇談会	平成19年11月7日(水) 中央区役所庁議室	<ul style="list-style-type: none"> 中央区文化振興プラン案の審議
第4回懇談会	平成20年1月21日(月) 中央区役所庁議室	<ul style="list-style-type: none"> 中央区文化振興プラン案の審議
第5回懇談会	平成20年3月17日(月) 中央会館	<ul style="list-style-type: none"> 中央区文化振興プランの策定・提言

※1 調査

・区政世論調査

区が毎年行う区政世論調査の中で、中央区の文化のイメージ等文化に関する設問を用意して実施。調査対象は、20才以上の区内居住者のうち無作為抽出の1000人

・社会教育団体の活動状況等に関するアンケート調査

文化振興の担い手ともなる社会教育関係団体の活動・運営上の問題、メンバー募集の状況及び他団体との協力・交流等の状況等について、登録団体のうち300団体を対象に調査書を郵送して実施

※2 ワークショップ

京橋、日本橋、月島の各地域ごとに区民ワークショップ(町会長、PTA会長、事業者、文化ボランティア等各地域7～8名で構成)を各3回開催し、それぞれの立場から見た地域の文化的魅力について、互いにその考えを披露し、共有・共感できる文化的な魅力を確認するとともに、地域や文化の魅力を活用した施策、区の役割等について検討

中央区文化振興プラン
平成20(2008)年3月発行

刊行物登録番号
19-129

発行 中央区区民部文化・生涯学習課
東京都中央区築地一丁目1番1号
電話 03(3546)5345(直通)
